

2018年10月期決算説明会
(17/11～18/10)

決算短信説明資料

(東1 コード番号:7856)

目次

I .2018年10月期 決算業績と主要事項

売上分析(連結)	-3
営業利益分析(連結)	-4
セグメント・子会社概況	-5
B/S(連結)	-6
キャッシュ・フロー(連結)	-7
たな卸資産・売上債権の 回転日数(連結)	-8
業績一覧(連結・単体)	-9,10

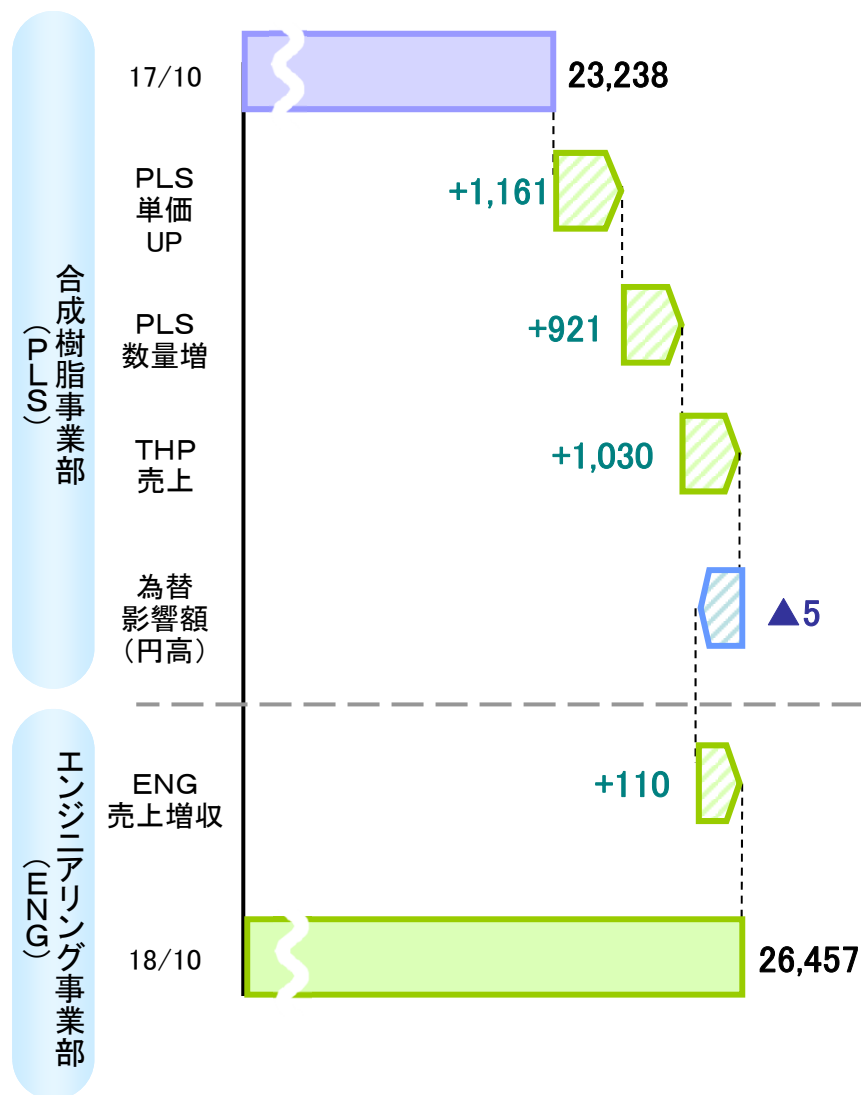
II .2019年10月期業績予想

業績予想(連結・単体)	-11
セグメント別業績予想(連結)	-12
戦略製品群概況(連結)	-13

III.補足資料

-15~21

I-1 売上分析(連結)



■用途別売上高

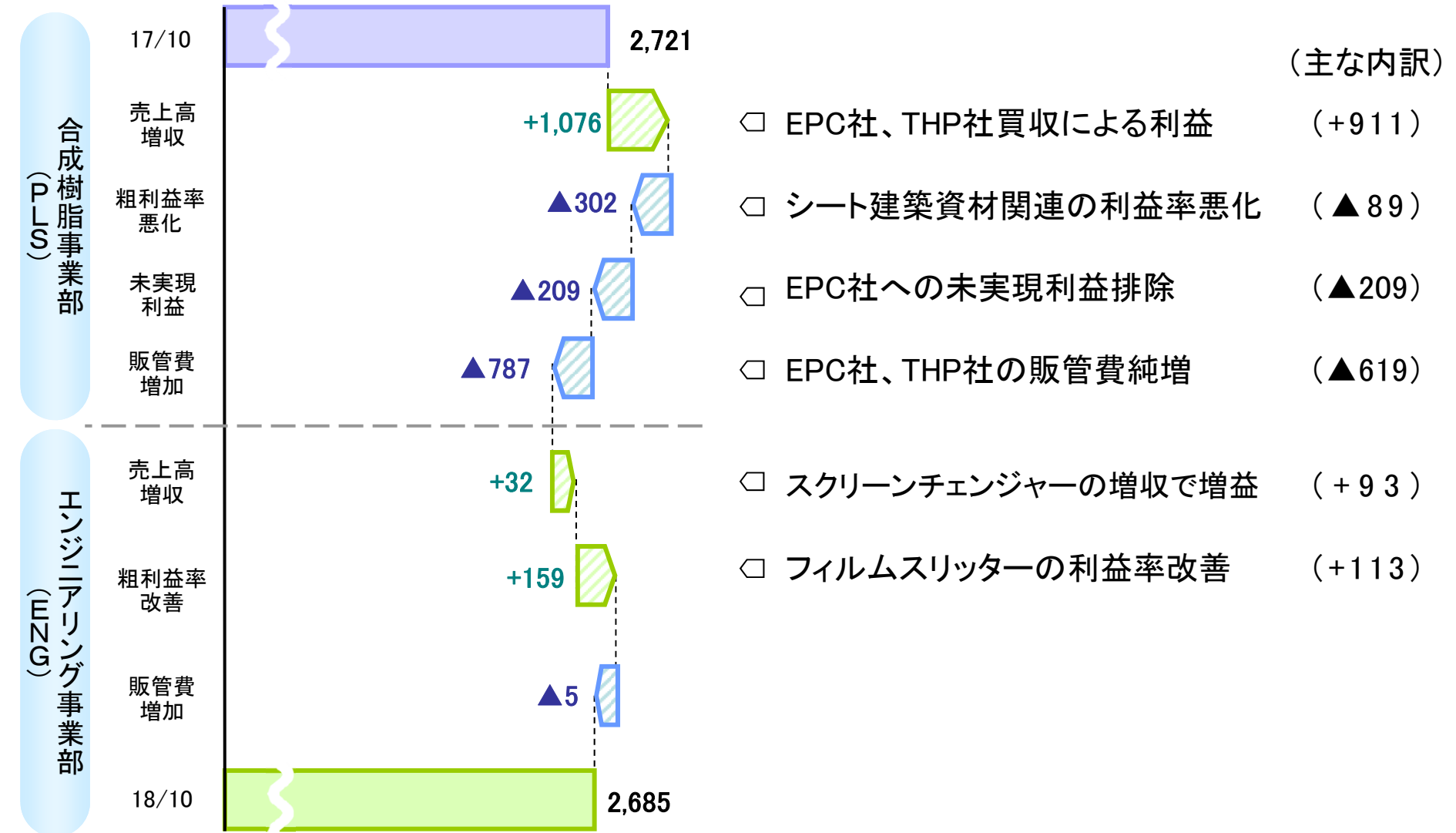
(単位:百万円)

用途	18/10期			17/10期
	実績	構成比	伸び率	
工事用シート、メッシュ、土のうシート・建築資材関連	6,180	23.4	+10.5%	5,594
産業資材関連 バルチップ、フレコン袋	9,398	35.5	+18.2%	7,951
生活資材関連 粘着用クロス、人工芝用原糸	4,288	16.2	+26.1%	3,401
その他合成樹脂 仕入商品等	986	3.7	+23.6%	798
機 スリッター、再生機、ワインダー	5,602	21.2	+2.0%	5,492
合計	26,457	100.0	+13.9%	23,238

THP(東洋平成ポリマー)

I-2 営業利益分析(連結)

(単位:百万円)



I-3 セグメント・子会社概況

(単位:百万円)

										連結
	合成樹脂 事業部	エンジニア リング事業 部	単体	日本ファブ ウエルド	ハギハラ・ ウエスト ジャワ・ インダスト リーズ社	青島 萩原工業 有限公司	EPC ホールディ ングス社	東洋平成 ポリマー	萩華 機械技術 (上海) 有限公司	
売上高	17,188	5,499	22,687	484	4,133	750	2,081	1,031	973	26,457
営業利益	1,726	744	2,470	72	173	13	245	46	33	2,685
経常利益	1,883	795	2,678	77	167	18	221	44	36	2,781
当期純利益	1,334	563	1,898	52	110	12	152	33	25	1,884
流動資産	—	—	14,339	133	1,456	462	1,790	2,610	325	19,848
固定資産	—	—	11,552	169	1,777	404	75	1,662	73	12,022
純資産	—	—	20,313	194	1,363	826	928	1,103	264	21,114
総資産	—	—	25,892	303	3,233	866	1,865	4,272	398	31,870

合成樹脂事業部(PLS)

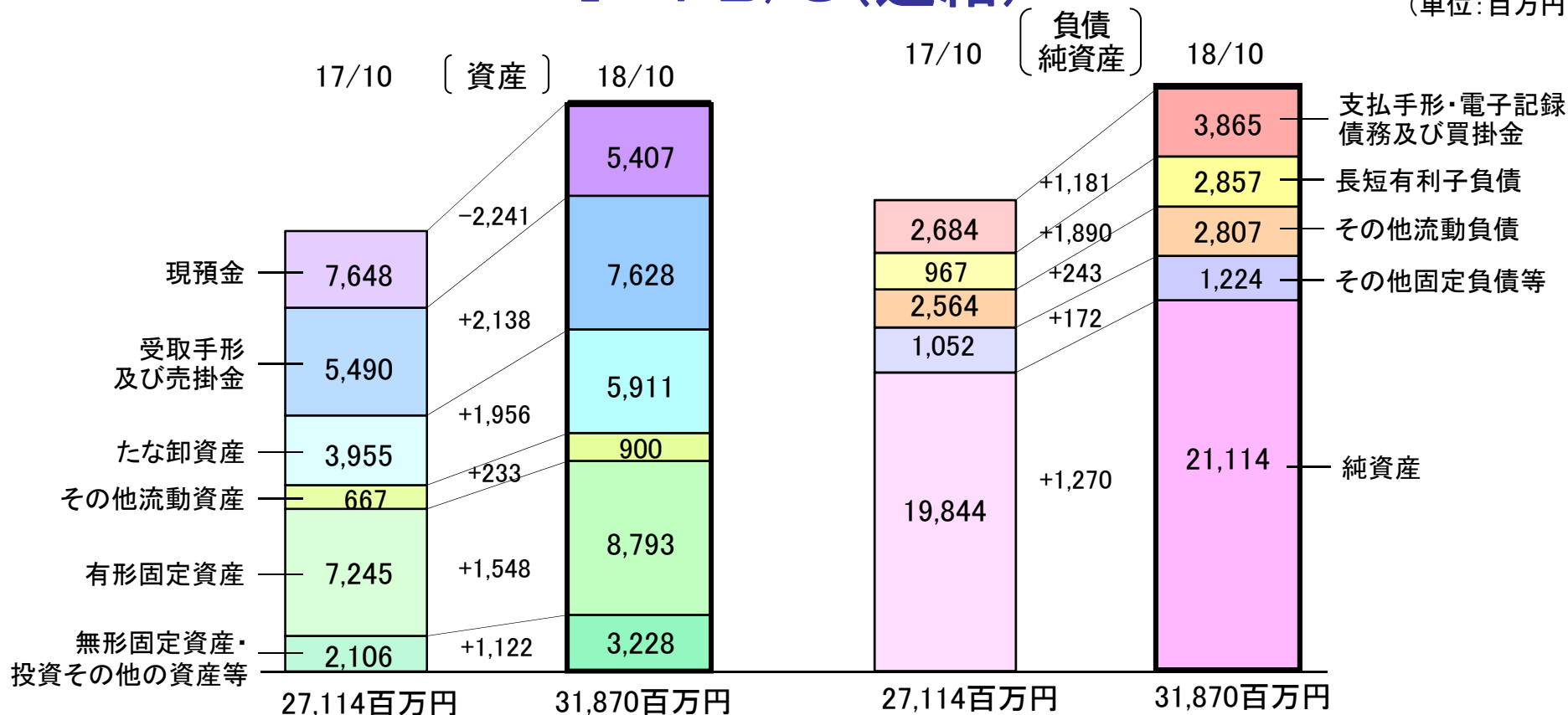
- 新連結子会社の取得
- 原料価格の高騰

エンジニアリング事業部(ENG)

- スリッター関連機器が堅調
- 樹脂関連機器が伸長

I-4 B/S(連結)

(単位:百万円)



流動比率

223.4% (前期294.8%)
 <71.4ポイント悪化>
 流動資産増加(2,086百万円)
 流動負債増加(2,859百万円)

長期固定適合率

52.3% (前期44.4%)
 <8.0ポイント悪化>
 固定資産増加(2,669百万円)
 自己資本増加(1,270百万円)

固定比率

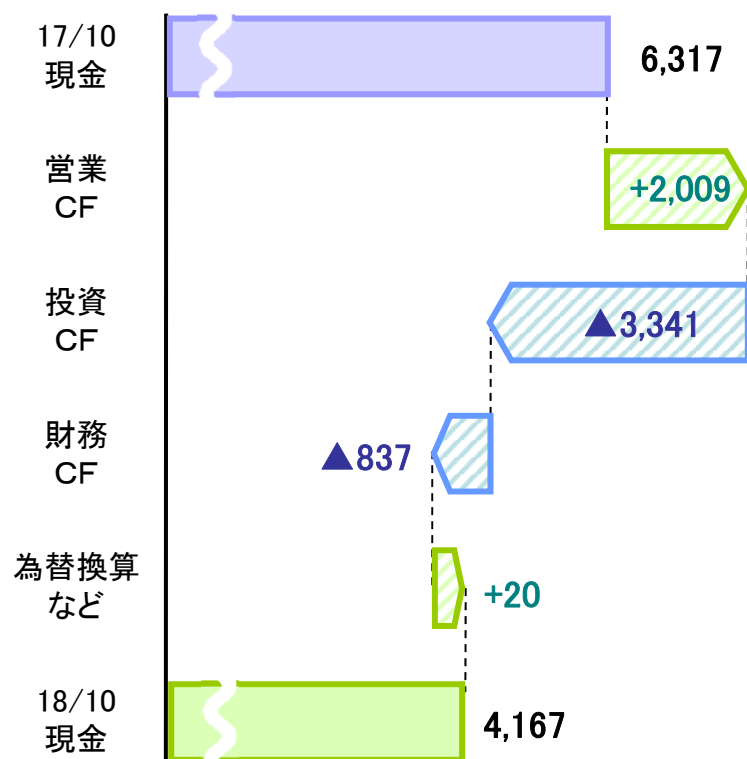
56.9% (前期47.1%)
 <9.8ポイント悪化>
 固定資産増加(2,669百万円)
 自己資本増加(1,270百万円)

自己資本比率

66.2% (前期73.2%)
 <7.0ポイント悪化>
 自己資本増加(1,270百万円)
 総資産増加(4,755百万円)

I-5 キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)



● 内訳	税金等調整前当期純利益	+	2,779
	減価償却費	+	1,054
	売上債権増加	▲	181
	棚卸資産増加	▲	567
	仕入債務減少	▲	325
	法人税支払	▲	805

投資C/F

● 内訳	有形固定資産取得	▲	998
------	----------	---	-----

フリーC/F

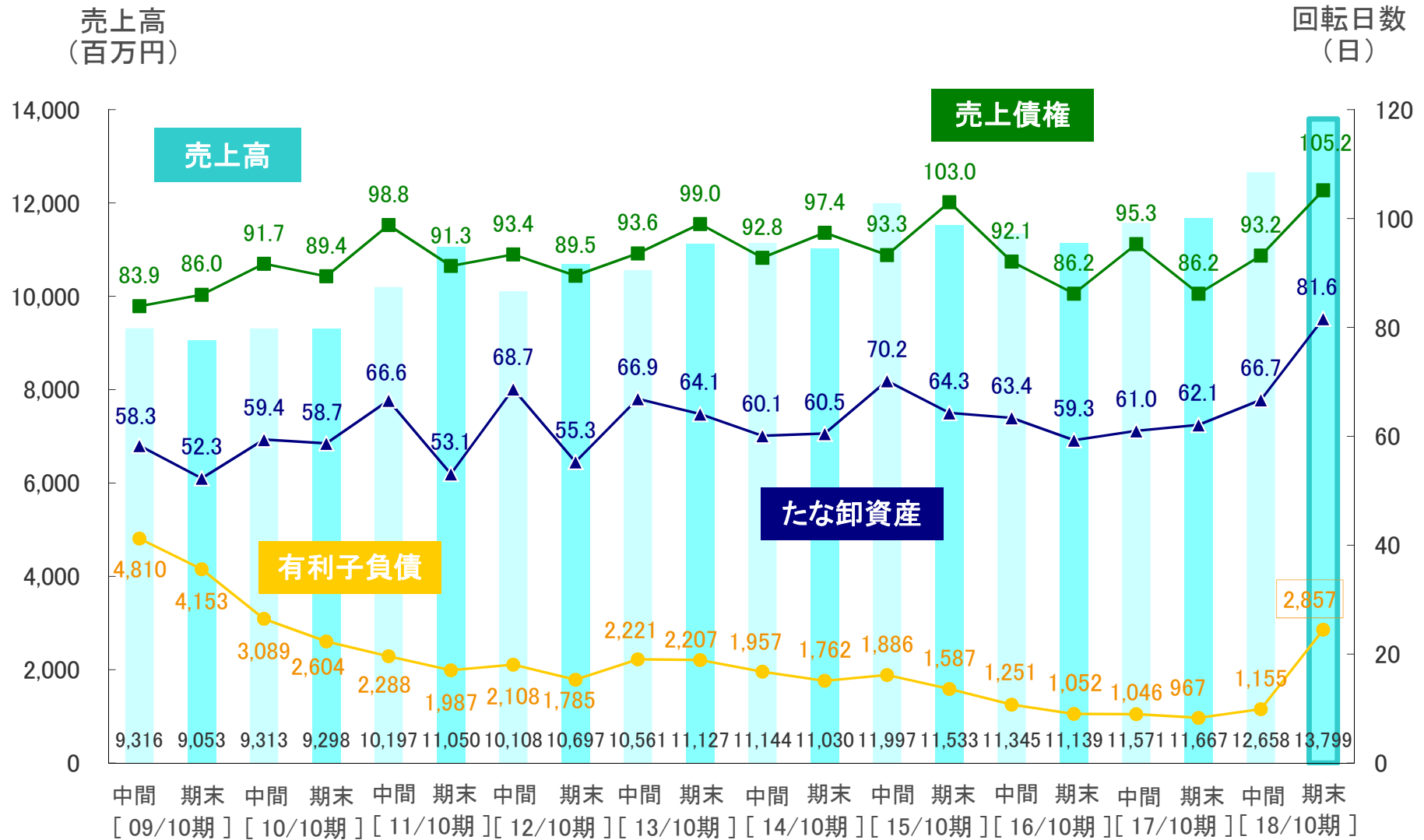
		▲	1,332
--	--	---	-------

財務C/F

● 内訳	短期借入金減少	▲	68
	長期借入金減少	▲	292
	配当金支払	▲	477

現金及び現金同等物の増加額	▲	2,149
---------------	---	-------

I-6 たな卸資産・売上債権の回転日数(連結)



I-7-(1) 業績一覧(連結)

(単位:百万円)

	18/10期		前年同期比較			18/10期		前年同期比較	
	実績	売上高比	増減	伸び率		実績	増減	伸び率	
売上高	26,457	100.0%	+3,218	+13.9%	総資産当期純利益率(ROA)	6.4%	-1.2%	—	
売上総利益	7,693	29.1%	+803	+11.7%	自己資本当期純利益率(ROE)	9.2%	-1.2%	—	
営業利益	2,685	10.2%	▲35	-1.3%	売上高対総資本回転率	0.83回	▲0.03回	—	
経常利益	2,781	10.5%	+27	+1.0%	自己資本比率	66.2%	-7.0%	—	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,884	7.1%	▲80	-4.1%	フリーキャッシュフロー	▲1,332	-3,019	—	
自己資本	21,113	—	+1,269	+6.4%	1株当たり当期純利益	130円28銭	▲5円54銭	-4.1%	
総資産	31,870	—	+4,755	+17.5%	1株当たり純資産	1,459円46銭	87円79銭	+6.4%	
設備投資額	998	—	+153	+18.2%	研究開発費	472	21	+4.7%	
減価償却額	1,054	—	+156	+17.5%	E B I T D A (償却前営業利益)	3,740	120	+3.3%	

(注)2017年11月1日付で普通株式1株につき2株に株式分割を実施しております。1株当たり情報は当該株式分割を考慮した額を記載しております。

I-7-(2) 業績一覧(単体)

(単位:百万円)

	18/10期		前年同期比較			18/10期		前年同期比較	
	実績	売上高比	増減	伸び率		実績	増減	伸び率	
売上高	22,687	100.0%	+1,114	+5.2%	総資産当期純利益率(ROA)	7.5%	-0.6%	—	
売上総利益	6,335	27.9%	+52	+0.8%	自己資本当期純利益率(ROE)	9.7%	-0.9%	—	
営業利益	2,470	10.9%	+6	+0.3%	売上高対総資本回転率	0.88回	+0.01回	—	
経常利益	2,678	11.8%	+46	+1.8%	自己資本比率	78.5%	+1.9%	—	
当期純利益	1,898	8.4%	▲35	-1.8%	フリーキャッシュフロー	▲2,189	▲3,793	—	
自己資本	20,313	—	+1,408	+7.5%	1株当たり当期純利益	131円22銭	▲2円44銭	-1.8%	
総資産	25,892	—	+1,207	+4.9%	1株当たり純資産	1,404円16銭	97円39銭	+7.5%	

(注)2017年11月1日付で普通株式1株につき2株に株式分割を実施しております。1株当たり情報は当該株式分割を考慮した額を記載しております。

Ⅱ-1 業績予想(連結・単体)

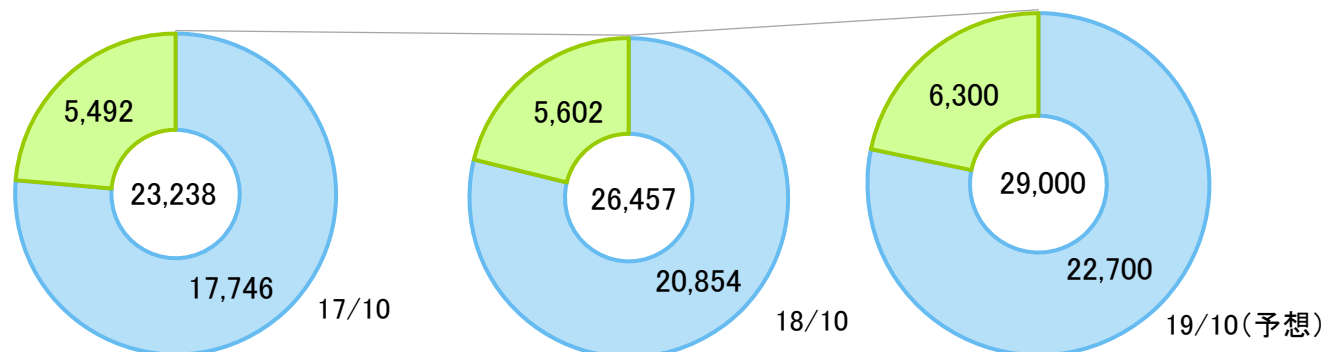
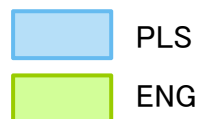
下段()は利益率

(単位:百万円)

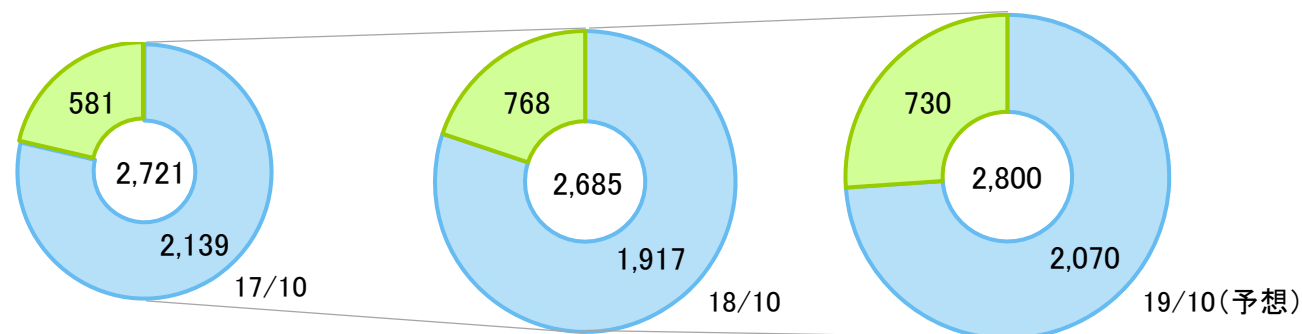
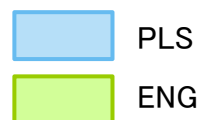
	18/10			19/10(予想)			前年 同期比較
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	12,658	13,799	26,457	14,800	14,200	29,000	+9.6%
連 営業利益	1,413 (11.2%)	1,217 (9.2%)	2,685 (10.2%)	1,430 (9.7%)	1,370 (9.6%)	2,800 (9.7%)	+4.2%
結 経常利益	1,479 (11.7%)	1,302 (9.4%)	2,781 (10.5%)	1,490 (10.1%)	1,410 (9.9%)	2,900 (10.0%)	+4.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,010 (8.0%)	873 (6.3%)	1,884 (7.1%)	1,030 (7.0%)	970 (6.8%)	2,000 (6.9%)	+6.1%
売上高	11,449	11,238	22,687	11,700	11,300	23,000	+1.4%
単 営業利益	1,408 (12.3%)	1,062 (9.4%)	2,470 (10.9%)	1,300 (11.1%)	1,200 (10.6%)	2,500 (10.9%)	+1.2%
体 経常利益	1,481 (12.9%)	1,196 (10.6%)	2,678 (11.8%)	1,350 (11.5%)	1,250 (11.1%)	2,600 (11.3%)	-2.9%
当期純利益	1,048 (9.2%)	849 (7.6%)	1,898 (8.4%)	945 (8.1%)	875 (7.7%)	1,820 (7.9%)	-4.1%

Ⅱ-2 セグメント別業績予想(連結)

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



売上高	17/10	18/10	19/10予想
合成樹脂事業部	17,746	20,854	22,700
エンジニアリング事業部	5,492	5,602	6,300

営業利益	17/10	18/10	19/10予想
合成樹脂事業部 (利益率)	2,139 (12.1%)	1,917 (9.2%)	2,070 (9.1%)
エンジニアリング事業部 (利益率)	581 (10.6%)	768 (13.7%)	730 (11.6%)

Ⅱ-3 戦略製品群概況(連結)

(単位:百万円)

	18/10 通期	19/10(予想)			前年 同期比較
		上期	下期	通期	
売上高	12,334	6,000	6,383	12,383	0.4%
シェア	46.6%	40.5%	45.0%	42.7%	-3.9%

- バルチップ
- 粘着テープ原反
- その他高機能化製品
- フィルムスリッター



【戦略製品紹介】



●バルチップ
(路面電車軌道 :ハンガリー)



●粘着テープ原反

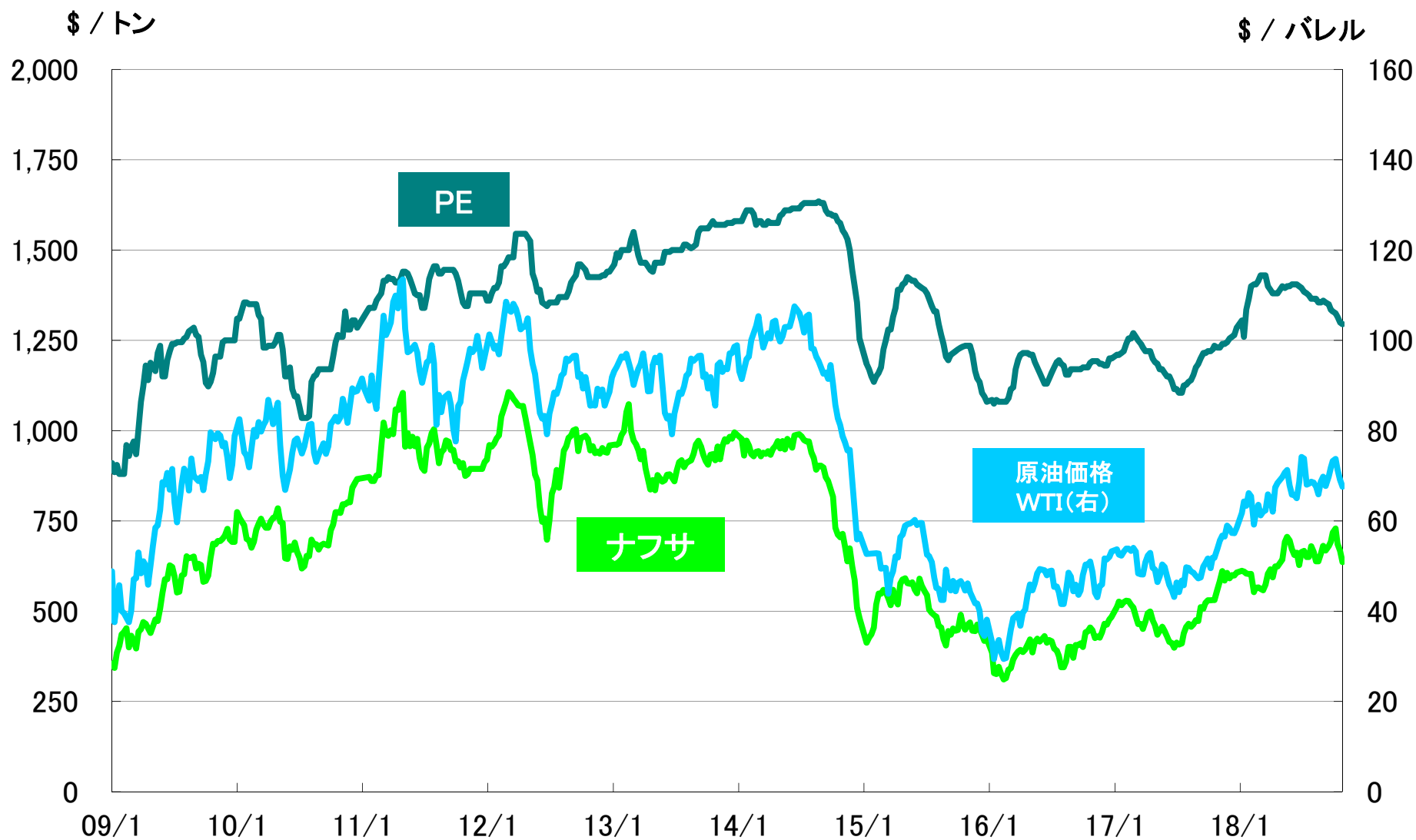


●穀物カバー用ラミクロス

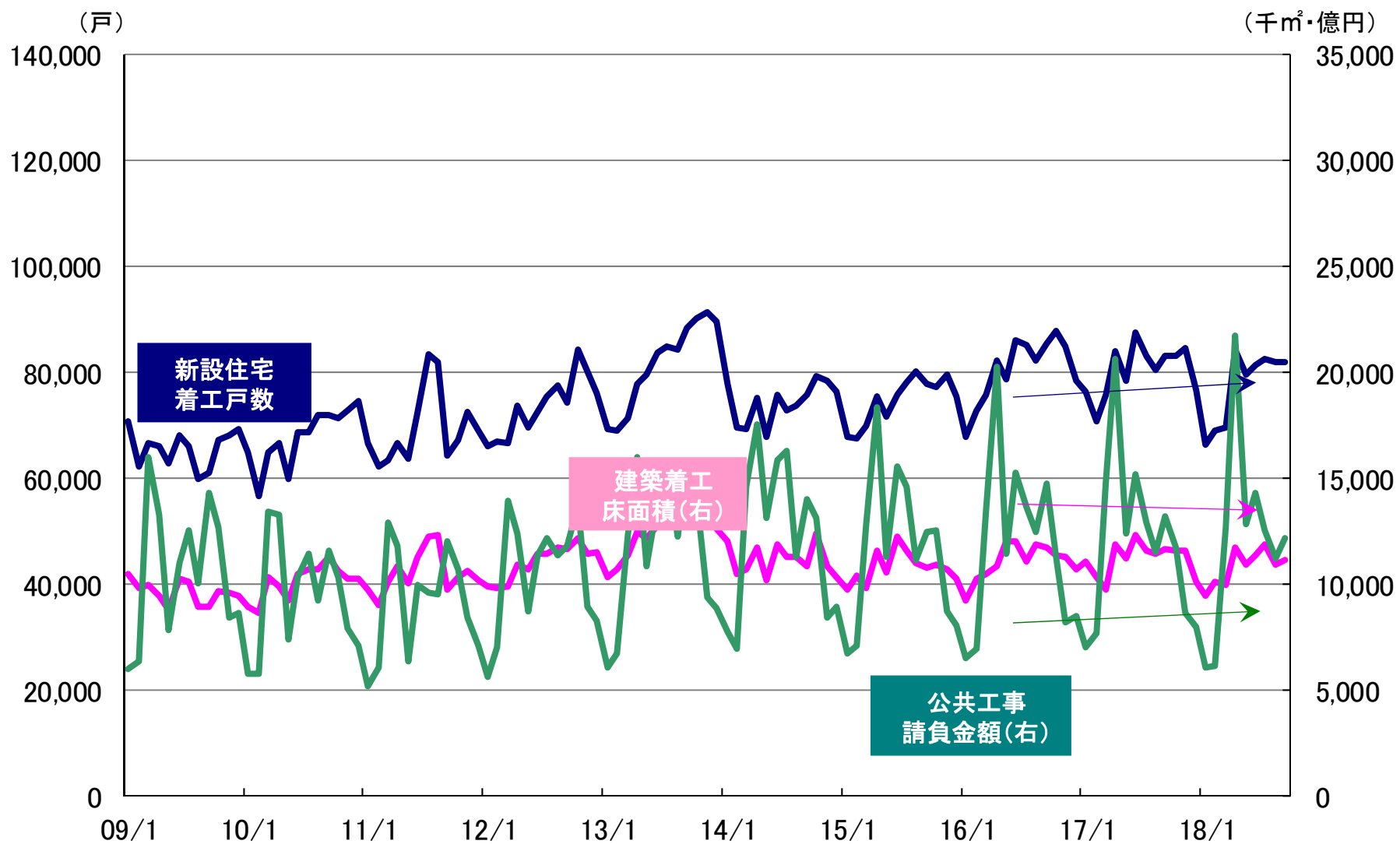


●スクリーンチェンジャー

原油/ナフサ/PE価格推移

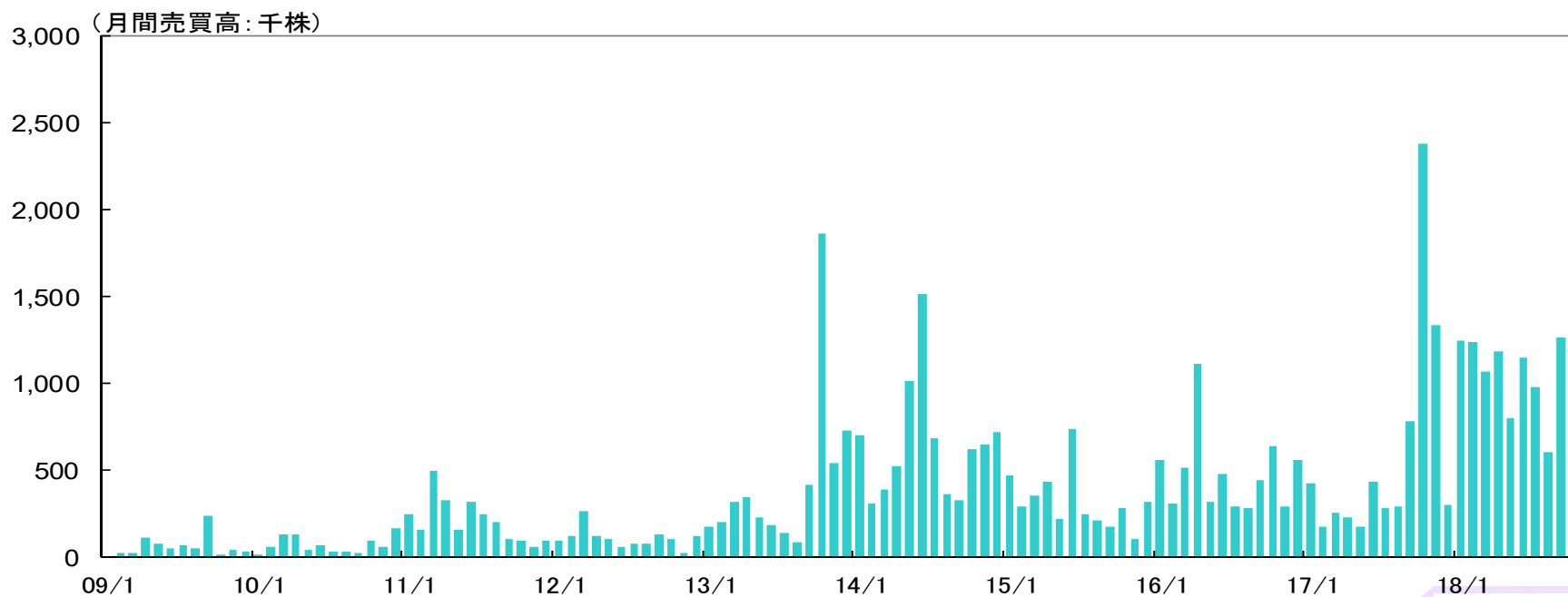


住宅・建築関係指数の推移



(出所:国土交通省 統計情報)

株価推移



主要株式指標の状況

	18/10末	〔直近実績〕 12月7日
株価	1,673円	〔 1,627円 〕
配当額	32円	
配当性向	24.6%	
BPS(1株当たり純資産額)	1,459円46銭	
EPS(1株当たり純利益額)	130円28銭	
PBR(株価純資産倍率)	1.15倍	※1〔 1.10倍 〕
PER(株価収益率)	12.84倍	※1〔 11.89倍 〕
株主数	9,528名	

※1. 公表業績予想の数値を元に算出

経営理念

フラットヤーン技術を大事にしながら、常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう。

社 是

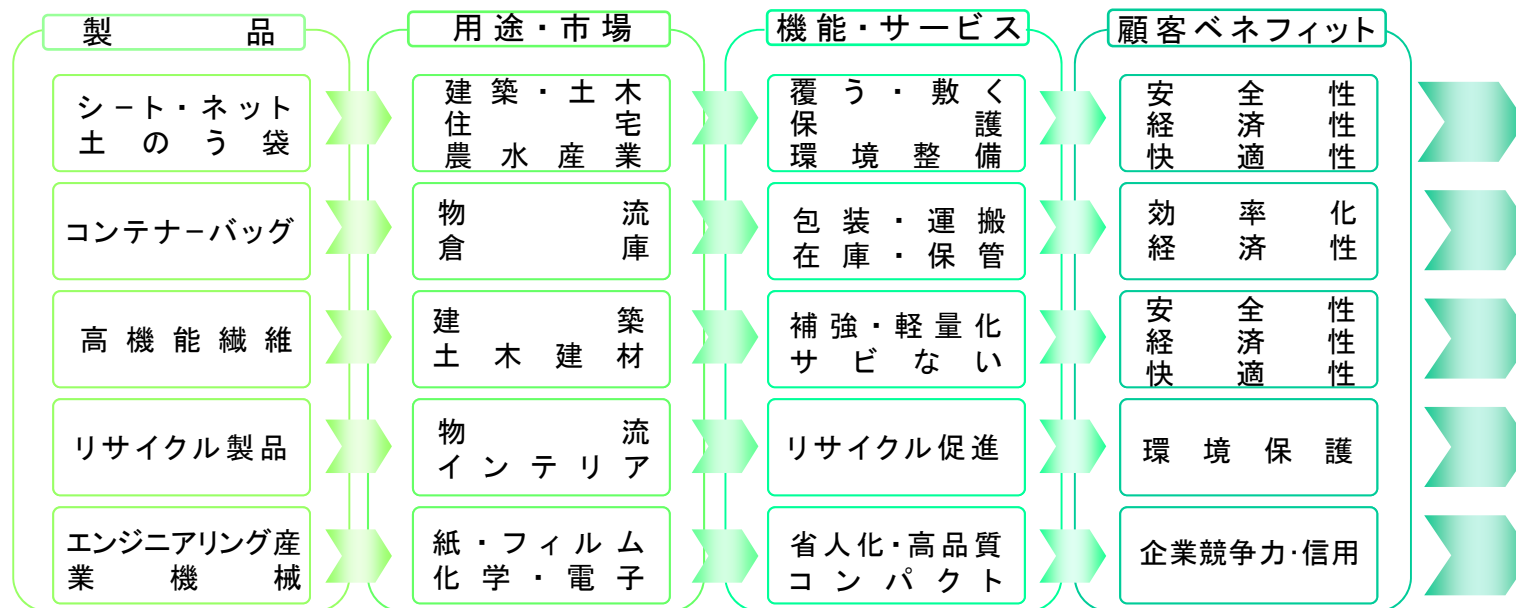
- 一、萩原工業は業界をリードする
- 一、萩原工業は信用に生命をかける
- 一、萩原工業は恩義を忘れない
- 一、萩原工業の社員は創意を尚び、
自己の責任を果すことに悦びを持つ

概要

萩原工業	関連子会社					
<p>設立 1962年11月</p> <p>資本金 17億78百万円</p> <p>代表者 浅野和志</p> <p>事業内容 フラットヤーン 関連製品および 産業機械の 製造・販売</p> <p>社員数 463名</p> <p>所在地 岡山県倉敷市水島</p>	<p>日本 ファブウエルト*</p> <p>1967年7月</p> <p>9,000万円</p> <p>犬飼正樹</p> <p>ラミクロスの シート加工</p> <p>35名</p> <p>岡山県笠岡市</p>	<p>PT. HWI</p> <p>1995年3月</p> <p>1,000万 米ドル</p> <p>小黑宰芳</p> <p>ペーパークロス 袋、コンテナ バッグ等の 製造・販売</p> <p>764名</p> <p>インドネシア ／ジャカルタ</p>	<p>青島萩原工業</p> <p>2002年12月</p> <p>7億円</p> <p>岡田清広</p> <p>フラットヤーン 関連製品の 製造・販売</p> <p>106名</p> <p>中国 ／山東省青島</p>	<p>EPC HD</p> <p>2007年9月</p> <p>5百万 シンガポールドル</p> <p>萩原佳明</p> <p>コンクリート 補強繊維の 販売</p> <p>28名</p> <p>シンガポール</p>	<p>東洋平成 ポリマー</p> <p>1943年7月</p> <p>1億円</p> <p>萩原邦章</p> <p>合成樹脂製 包装資材及 び加工品の 製造・販売</p> <p>169名</p> <p>茨城県 かすみがうら市</p>	<p>萩華機械 技術(上海)</p> <p>2005年1月</p> <p>1億35百万円</p> <p>永原裕幸</p> <p>自動機器製品 の設計</p> <p>36名</p> <p>中国／上海</p>

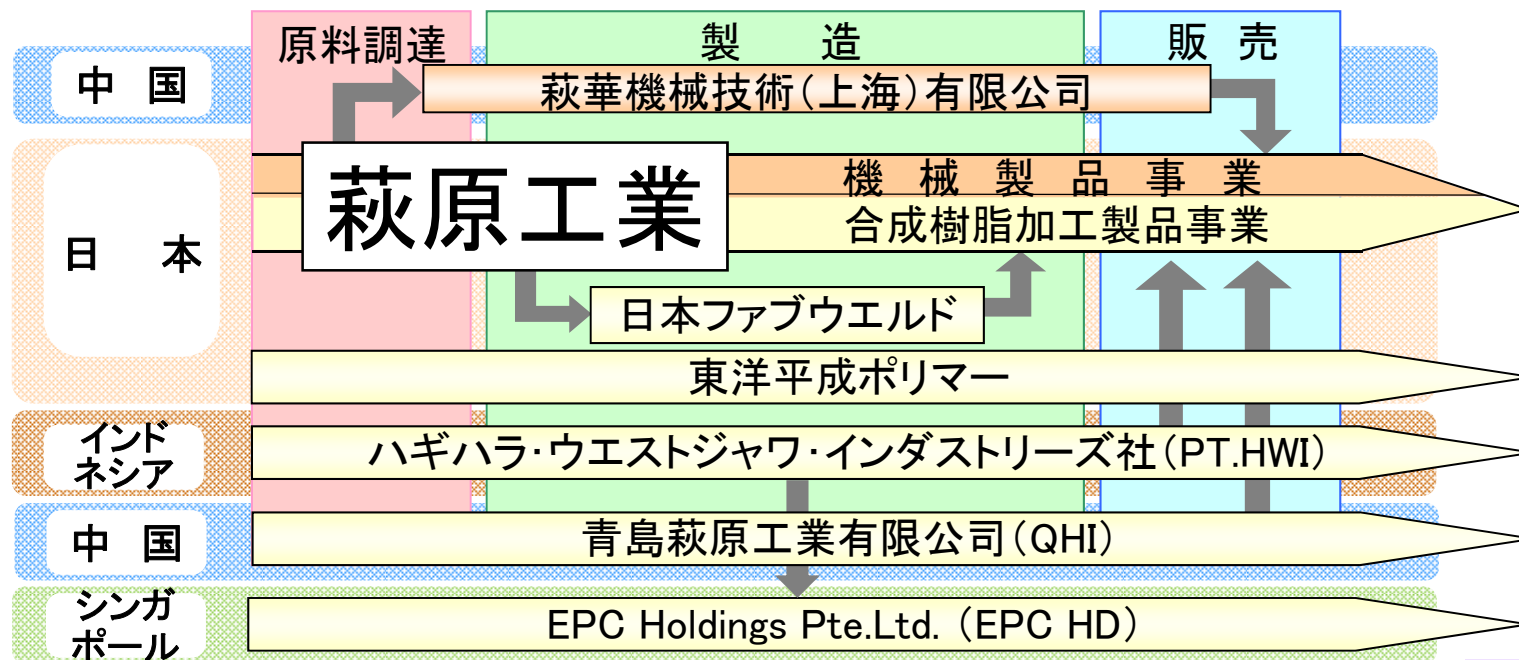
補足資料

提供機能



ユーザー

事業構造



資料についてのご注意

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的にご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行われぬようお願いいたします。